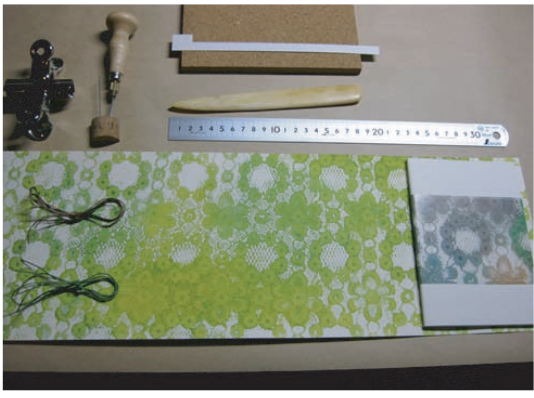


6月2日

『ツイクツアクノート』

「Zwillinge(ツヴィリンゲ)」の「Z」の形をしたノートです。表紙にはツヴィリンゲ定番の花模様を使い、チェーンステッチやラインステッチで綴じます。工夫次第で便利に使える、一本の糸で綴じたツイクツアクノートは実用的で楽しい一冊。



1: 瑞々しく繊細な花模様が南桂子の作品にも通じるところ。材料や道具が整然と準備され、どんなノートができるのかワクワクしますね。



2: 道具の正確な使い方をはじめ、一つ一つの行程に丁寧なレクチャーがあります。「見る時は見る、作業する時は作業する」ことが大切。



3: 南桂子の作品に囲まれた会場で黙々と作業を進める参加者の皆さま。手を動かすことに夢中になれる、貴重なひとときかもしれません。



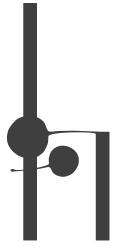
4: 折ったり貼ったり表紙の準備を終え、糸で綴じていきます。重なる紙の穴に糸を通すのは案外大変な作業で、コツを掴むまで四苦八苦の方も。



5: まるで色とりどりの花畑のような素敵なノートが完成しました。太めの糸で綴じたチェーンステッチの色がアクセントになって、ジグザクの形もユニークです。「もったいなくて使えないです」と感激の声でお持ち帰りいただきました。

南桂子展 船の旅 | 南桂子の詩と童話と版画の世界 |

関連イベント



美術館通信

No.17

ワークショップ “つくる楽しみ”
「染め紙でつくる、特別なノート」

講師：ツヴィリンゲ [寺園 直子 / 森住 香]

ツヴィリンゲのお二人に、南桂子の詩や童話からイメージした紙を染めていただきました。その染め紙を使用してノートをつくるワークショップを全4回開催しました。内容の一部をご紹介します。

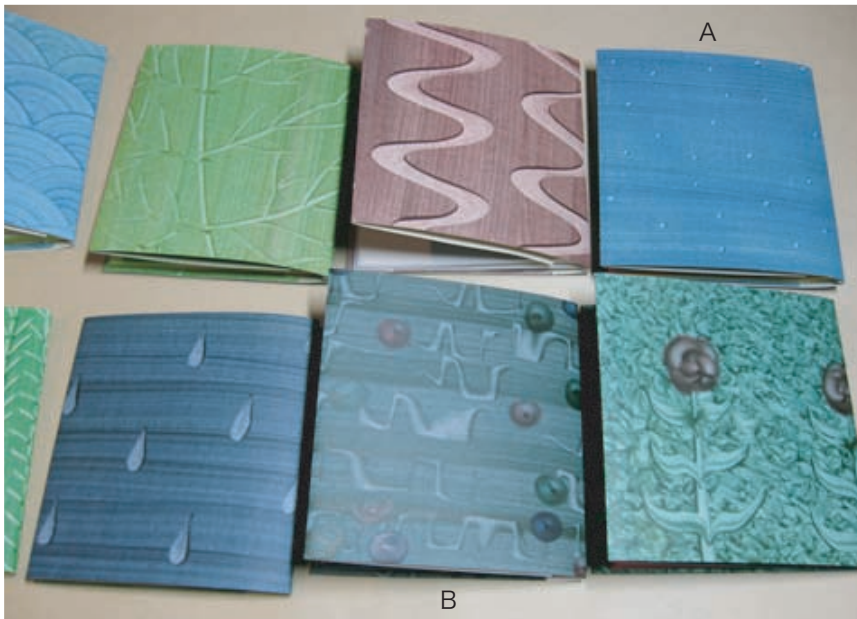


オリジナルの美しい染め紙「クライスターパピア」を使用した文房具の制作を手がける双子姉妹のユニット「Zwillinge(ツヴィリンゲ)」(写真左：森住香さん、右：寺園直子さん)。詳しい活動内容は HP↓をご覧ください。
<http://www.zwillinge.jp/>

2012年6月：ミュージアム陽三・ヤンチャコレクション

6月23日

三つの穴をあけ一本の糸で綴じる「三つ目綴じ」は普遍的で合理的な、糸綴じの基本。知っておけば本当に役に立ちます。表紙にツヴィリンゲオリジナルの紙を使用したシンプルで美しいノートを、大・小2つのサイズで作ります。



5: 「船の旅」第七章「チラチラ雪のふる」場面からは A の模様、「赤、青、緑の豆電燈がついている」場面からは B の模様がうまれたそうです。南桂子作品のワンシーンが、ツヴィリンゲさんの染紙と、参加者の手によって、特別なノートに仕上がりました。

『染め紙ノート』



2: 糸通す穴をあけます。製本は「慎重になるところと、神経質にならず思い切って進めるところのメリハリをもって」と講師のアドバイス。



1: こちらの紙は、展示中の南桂子の詩「船の旅」の第六章「砂漠でスフィンクスが涙をこぼす」場面からイメージが膨らんで染めた模様だそう。



4: 糸で綴じた後は、最後にヘラを使って縫い目を整えたり、端や折り目をもう一度しっかり押さえたりすることで、より美しく仕上がります。



3: 中面にカラフルなトレーシングペーパー「クロマティコ」を挟みます。選んだ柄や糸の組み合わせに個性が表れるのが手作りの醍醐味。